

令和2年度 第2回文化財調査委員会議 議事録

令和3年3月29日（月）滝沢市役所4階 中会議室

【会議内容】進行：事務局 佐々木澄子 文化振興課長

開始時刻 10時

発言者	内容
<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>本日の会議は、委員5名中5名のご出席を頂いております。</p> <p>滝沢市文化財調査委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。</p> <p>ただ今から、令和2年度第2回滝沢市文化財調査委員会議を開催いたします。</p> <p>教育長 熊谷雅英よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>熊谷教育長</p>	<p>(挨拶)</p>
<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>第2回目の会議でございますが、改めて委員の皆様のご紹介と、教育委員会事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>本日の資料の表紙裏面をご覧ください。恐れ入りますが、名簿の順に自己紹介していただいてもよろしいでしょうか。(委員自己紹介) 引き続き職員の紹介をさせていただきます。(佐々木より職員紹介)</p> <p>それでは、議事に入ります前に「会議録署名委員の指名」ですが、前回は、渡辺委員にお願いしておりました。署名は委員長と委員1名の署名となりますことから、今回は、名簿順で越谷委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、越谷委員よろしくお願いたします。会議録署名は会議録作成後に日程調整の上、事務局がお伺いたしますので、よろしくお願いたします。</p>

<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>ありがとうございました。議事の進行であります。滝沢市文化財調査委員会議運営規則第2条第4項の規定により、委員長が会議の議長となることとなっておりますので、それでは、これからの進行は、光井委員長にお願いします。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>それでは議事を進めたいと思います。</p> <p>報告第1号 令和2年度滝沢市文化財事業及びの進捗状況について</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 大井主事</p>	<p>(文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>(埋蔵文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ただいま、事務局から説明がありました内容について、ご質問やご意見等ございますか。</p>
<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>一番目の文化財関係のところ、資料の4ページの下にございます「民具」のことで、その時の見学者の方々の反応といいますか、何か展示をこんなふうにしたほうがいいのか。今後の改善に生かせるようにしたほうがいいのか。今後の改善に生かせるようなことがありましたら報告いただければと思います。</p> <p>よろしくおねがいします。</p>
<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>民具保管庫の公開につきましては、今年度の夏あたりから公開することができました。</p> <p>申し込みを受け付けますということで、各学校さんの方には連絡しており、早速、滝沢東小学校の方から御連絡いただきました。30人ほどで申し込みいただいたのですが、やはり直前にコロナということで中止させていただきたいという御連絡をいただいたので、実績として、今年度は見学会としてはゼロでした。</p>

<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>内部としては、市長・副市長・部長等に見ていただいておりますし、議会の総務常任委員会に取り上げていただきまして、その方々9人の議員さんたちに見ていただきました。やはり、こうした方がいいという意見をいただきまして、出来るところは、こちらの方でも可能なものは直しました。</p> <p>「表示は大きい方がよいとか」ということであれば、すぐ直せるので、直しつつ、展示を変えていくことになります。</p> <p>また、「米作りでストーリー性を持たせたほうがいいのではないか」という議員さんからの提案もありましたので、こちらとしても春・夏・秋・冬というふうに米作りにイメージできるようなかたちで表示を直したところになります。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。このような意見を取り入れながら進めていただければと思います。</p> <p>その他、御質問、御意見ないでしょうか。</p>
<p>(委員) 松本委員</p>	<p>4ページの民俗芸能保存のあたりでございます。昨年、今年度はですね。ほとんど民俗芸能に関しては、他の市町村でもそうですけれども中止が続いています。民俗芸能というのは御承知のとおり伝承していくことが最大のポイントになるわけで、その中で1年中止続く、また、来年度、このコロナの状況が今後どうなっていくのかわからない状況の中で、恐らく、かなり保存団体の方々には不安があるのではないかと思います。そのような不安とか、保存継承、団体の意向とか、そういった意見などを、収集していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、来年度、4月1日から始まる次の年、どういうふうになれば、伝承を含めて講演等も実現できるのか、或いはできないのか。まさにコロナの進展と不可分ですけれど。でも、それぞれの団体さんとの意見調整や情報収集、意向収集などをしていかれた方がいいのではないかと思います。</p> <p>もう1年、これが中止となりますと、伝承という問題について、かなり厳しい状況が出てくるのではないかと、恐れております。そのあたりの連絡を密にさせていただいた方がいいかなと思います。以上です。</p>

<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ただ今、コロナ禍、新年度に向けてどのように進めていくかということについて事務局のほうで何かありましたらお願いします。</p>
<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>郷土芸能につきましては、そのとおり、伝承について大事だと思っております。今回、こちら4ページの資料にもありますが、郷土芸能保存団体代表者会議の4回目で中止と決定になりましたが、それまでの1回目、2回目、3回目につきましては、コロナに気をつけながら開催する方向ということで、皆さんにお集まりいただきつつ、例えば、「餅つきは、やらないほうがいいのではないか」とかいろんな形で皆さんにお考えいただきながら、開催の方向で進めてきたところであります。</p> <p>ただ、12月頃から雲行きが怪しくなってきた、各団体さんの方に持ち帰っていただいて、今回、祭りについて、どのように参加されるか、それぞれの意見をお聞きしたところです。</p> <p>各団体の意向をできるだけそのまま伝わるように書面でいただきました。</p> <p>それをもち寄ったのが12月8日というかたちになりまして、その結果、やはり、今年度は、まず練習自体ができていないという団体や、小さいお子さんと老人と一緒に集まって行うことは怖いということもあって、練習すらできていないという意見がありました。また、イベントには出たものの、それがきっかけでコロナにかからないかとか、すごく不安だということで、1か月ぐらいは気が気ではなかったという御意見もありました。</p> <p>何とか伝承のために続けようとおっしゃってくださった方もいますが、今年については、致し方無いけれども中止という判断に至りました。</p> <p>命を守るのが大事ではないかというお話もありまして、中止という判断を協議会として決定したことを、市としては、そのところを汲み取って、郷土芸能まつりを中止させていただいたというかたちになりました。</p> <p>2月ですが、いつもであれば、イオンのイベントで踊っていただいたり、集まっていたりする会がありましたが、今回は展示という形で発表できるのではないかと。また、大型スクリーンがあるのでそこを利用して、映像を流したらいいのではないかとということで、DVD等を作成しました。</p> <p>実際より迫力はないと思いますが、皆さんの目に触れていただくような機会を少しでも持ちたいのがありまして、文化振興課としましては、DVDを作成しました。今後もしろいろな場所で活用して欲しいと思っております。</p>

<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>伝承になるかどうかわかりませんが、皆さんに忘れられないように、実際に演舞したときには、皆さんに見ていただけるようにと考えて実施したところです。</p> <p>来年度もこのようなかたちで団体と、打ち合わせを重ねながら、実施していきたいと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。もちろん、本番での祭りというものもあると思いますけれども、練習そのものがなかなかできないという実態もあるということがあるかもしれません。そういったところでの細かい部分での支援ということも含めて、今申し上げたように、情報の共有などをしていただければありがたいと思います。</p> <p>はい、ありがとうございます。ぜひ、令和3年度に向けて生かしていただければと思います。</p> <p>その他、御質問、御意見ないでしょうか。</p> <p>では、私から一つ、文化財などの保護・整備ということで、文化財巡視を何回もされていてありがたいと思っております。4ページにありますように、デワノトネリコの枝に卵がありまして、成虫20匹を確認したということですが、専門でないのわかりませんが、またこのままの状態で行っておけば、チョウセンアカシジミの生息は、このまま維持できるのかという一つ質問と、それから、あと一つは、指定樹木の整備ということで、田村神社、山神神社の指定樹木の状況はどうなっているかということも併せて教えていただければと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>チョウセンアカシジミの生息状況ですけれども、巢子川で今回、4月16日と17日に確認しました。卵の状況も成虫の状況も良好ですので、このままの状況でも大丈夫かなと思います。ただ、木を伐ったりすると状況は変わりますが、地権者も協力的で、そのまましておいてもらっていますので、この状況においては大丈夫と思っております。</p> <p>ちょっと気になるのは、巢子川の対岸に、過去にデワノトネリコを植栽した経緯があるのですが、岩手大学の農場敷地内で、そこは見れなかったの、チョウセンアカシジミが定着しているかどうか、来年度確認したいと思っています。</p>

<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>それから、指定樹木に関しては、今のところ田村神社の樹木も、この前台風がありましたが一応確認はしております。今のところ、内部は状況が悪いようになっていますけれども、外側から見る限りでは、現状維持という感じにはなっていませんでした。いずれ、予算とかの問題ですが、ちゃんとした調査も、もしできればと事務局では考えております。以上です。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございました。では、文化財関係について、その他、御質問御意見ございませんでしょうか。では、なければ、(2)の埋蔵文化財関係について移らせていただきます。埋蔵文化財関係について御質問、御意見ございましたらお願いいたします。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>6ページのほうで11月21日の岩手大学の講座181名。その下の12月13日の講演会105名。非常に大勢の申し込みがありました。そこから考えるに、パネル展示や実物展示も大事ですが、それ以上に市民の方への説明とか資料配布の効果が、教育活動には効果があるのかなあと感じます。</p> <p>特に、岩手日報さんのカルチャースクールが今年度で廃止になりますので、ただ、あちらは、人が集まらなくてもお金を取っているからだと思うのですが、こちらは、お金を取っていないので、こういう企画を埋蔵文化財だけではなくて、他の文化財でもやったらどうかと思います。意見です。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい、よろしく申し上げます。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>今回の講演会の申込みは、いつもより多かったです。やはり、コロナで中止になっているせいか、どこかで開催するとなると集中して、興味のある人が申し込みする傾向にあると思います。</p> <p>やはり、今業界では、オンラインとか流行しているのですが、オンライン出来る人と出来ない人がいて、埋文の講座に来る年配の方はオンラインからはみ出されている感じで、うちも講演会105名の申し込みがあったのに、オンラインで実施したら、たった5名ぐらいの申込でした。</p>

<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>そうになったら、直接やったほうがよいのではないかという人数の集まりだったのです。やはり、実際にやるというのは、コロナで難しいところですが、座学でやるような講座をなるべくうまく企画していきたいなあと思っていました。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。やはり、コロナ禍の中で、今言われたように、高齢者の方にアピールだとか、その中で結構実態に合わせたやり方で工夫しながら、今後も進めていただければと思います。よろしくお願いします。</p> <p>本当にぎりぎりまで皆さんの希望を叶えるように努力し考えていただいて、本当にありがとうございます。次年度も講座をやってくださいということなので安心しております。とても、魅力的なタイトルであり、滝沢市の文化財を象徴するようなテーマですので、このまま、続けてやっていただきたい。また同じように、先ほど言われましたように、その他の文化財の方も引き続き、広げていける方向で進めていただければと思います。</p> <p>その他、埋蔵文化財関係で御質問、御意見ないでしょうか。</p> <p>では、私から一つ。施設の運営・保存・管理ということで、公園の草刈りをされていますけど、ストーンサークルをちょっと見ると、石が壊れたりしているのです、そのあたり、今後全体として草刈りだけではなく、どういうふうにしていくか。過去には縄文祭りもしていましたので、総合的な方向として、後で新年度の事業説明のところに出てくると思うのですけれども、一応、現状と、もし新年度に向けて何かありましたらお願いします。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>環状列石の保存・管理ということですが、現在、草刈りだけやっている状況です。石もかなり劣化している状況もあるので、その状況を見ながら、また、公園の管理計画を立て直して、保存・整備していかねばならないと思っています。今後、補助金の申請があると思うので、時期を見ながら考えていきたいと思っています。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございます。お金の関係もありますので、タイミングを見ながら進めていただければと思いますので、よろしくお願いします。</p>

<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございます。 では、(1) 文化財関係、(2) 埋蔵文化財関係に御質問、御意見ありませんでしょうか。 では、なければ 報告第2号 令和3年度滝沢市文化財行政事業計画について 事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 大井主事</p>	<p>(文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>(埋蔵文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>今、事務局から説明がありました内容について、御質問や御意見等ございますか。 まず、文化財調査・整備・普及ですね。8ページ、9ページのところで御質問、御意見ございましたらお願いいたします。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>文化財の掘り起こしのところでお聞きしたいのですが、私は歴史分野担当のところ、お役に立てていないところですが、例えば、新しい歴史関連の文化財を探すということは、考えていらっしゃるのかどうか。 具体的にいうと文化財の定義に入るかどうか分からないのですが、例えば、越前堰、岩洞湖用水、盛岡大学周辺の開拓村、この辺のことも文化財にならないのかどうか。ちょっと、教えていただきたいと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>事務局、よろしくをお願いします。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>今回、指定候補案件を15ページに載せていますが、これは提出されたものということで、特にこだわってはいません。 戦時中の遺構とか、文書、供養碑とか、いろいろなものがありますので、随時、確認しながら、少しずつそういったものも対象にしていきたいと思っています。 この候補案件ですが、歴史系が全然ないので、それも随時拾っていきたくと思っています。</p>

<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>決して、それを排除するという観点、考えはほとんどないので、何か言っただけであれば、調査対象か、あるいは、指定対象も含めて入れていきたいと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。歴史のほうも。</p>
<p>(委員) 松本委員</p>	<p>恐らく、事務局の方では、水利権の問題とそれに関わって、水の問題は、滝沢は結構厳しかったでしょうから、そういう中での水利権関係の史跡という大変ですけども、民俗学の方でも十分な対応は考えられます。民俗芸能、民具、民俗学と分野が広いので、水利の問題はたぶん地域の問題や集落の問題と深く関わるものですから私も興味がありますし、力になればと思っております。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。幅広い中での共同理解ということで、歴史ということで、考古の方もそうですけども、掘り起しをしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、その他に、御質問、御意見ございませんでしょうか。</p> <p>私から一つですけども、8ページの方に、民具、郷土学習資料として幅広く活用できるよう解説表示を行い、保存管理に努めますと書いてありますので、やはり、9ページのところにも、何か民俗のところ項目として入れてあげたほうが良いと思うのですけれども、どうでしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>そのとおりだと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>よろしく願いいたします。入れていただければ、より理解が深まって進めやすいと思います。</p> <p>では、引き続き10ページ、11ページ、8ページ、9ページについて、御質問、御意見ございましたらお願いいたします。</p>

<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>では、ないようですので報告第3号にうつらしていただきます。もちろん後で質問がありましたら、さかのぼってお話されても構いません。 では、報告第3号 令和3年度カワシンジュガイ調査報告書について事務局から説明をお願いします</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>(カワシンジュガイ調査報告書について 令和3年度カワシンジュガイ調査報告書刊行スケジュール 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員) 渡辺委員</p>	<p>(カワシンジュガイ調査報告書構成(案)、結果の記述例について 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>第3号のカワシンジュガイ調査報告書の説明がありましたが、御質問や御意見等はございますか。 では、私から2つほど、お伺いしたいと思います。 一つは、こういう報告書が出ると、みんな理解してくれる人ばかりとは限らないので、前段に啓蒙とか、取り扱いとか、博物館でもやられていると思うのですけれども、読む人に保存・保護の啓蒙という項目があったほうがいいと思いました。 後は、別件ですけれども、前回、話し合ったときに遊水地ができれば、移植するということでしたけれども、現在どういう状況になっているのでしょうか。お伺いできればと思いますので、2点についてよろしくお願いします。</p>
<p>(委員) 渡辺委員</p>	<p>保存するという考えで、このところが抜けていたのですが、生息に対する危機というところで述べる予定です。工事、災害もありますし、人が持っていくのも問題になるということもありますし、地域で見守り、外部の人が入るところは気をつけて見ていかなければならないということも内容には、盛り込みたいと思います。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>遊水地に関して、まだ移植はしていないそうです。滝沢市の河川工事に関しましては、特に、カワシンジュガイ生息域での工事は、来年度以降はないそうです。文化振興課でも河川課に聞いてきますので、連絡を密にしてやっております。以上です。</p>

<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>委員長が質問している内容とかぶるところがあるのですが、貴重なものですから、ちゃんと調べることと、それをまとめられるというのが非常に重要です。けれども一方で、委員長が御指摘のとおり、心ない人が行うというケースと、行政的にはもちろん市の方の河川関係と連絡を密にさせていただければと思います。</p> <p>それだけではなく、県とか国とか、雫石川は国の管轄です。報告書の普及部分が問題だと思うのですが、そういうときの工事とか、連絡を密にして、今すぐということではないですが、そういったところも市民に還元できるように、もちろん市民への啓発の方もですが、連絡を密にする工夫をしていただければと思います。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>一応、そちらの方面にも報告書は、配布しようと考えております。市より、県や国がナーバスになっており、そっちの方から、逆に情報を聞いてくる場合があります。</p> <p>特に、木賊川の遊水地は、県の方から「いつ指定になりますか」と何回も聞いてきて、「まだですよ」と言ったら、「もうそろそろですか」とか、結構連絡がくるので、注目していると思います。</p> <p>そのへんを密にしながら、うちのほうも国や県の方にも情報公開して、やっていきたいと思っております。</p>
<p>(副委員長) 越谷副委員長</p>	<p>木賊川のほうですと、例えば、防災関係のほうで、少し川の流れを整備するとか、自然生物との関連が非常に議論になっているようですが、そのへん、県の自然保護課との連絡、それから県の整備部との御連絡をよろしくお願いします。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>わかりました。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>まだ、出版までは時間がありますので、今の話を踏まえて、ゆっくり進めていただければと思います。よろしくお願いたします。</p> <p>その他、報告第3号のカワシンジュガイ調査報告書について、御質問、御意見ございませんでしょうか。</p> <p>他にご意見質問等はありませんでしょうか。無ければ、それでは、これで本日の議事について終了しますので、事務局にお返しします。ありがとうございました。</p>
<p>(事務局) 佐々木課長</p>	<p>光井委員長、ありがとうございました。それでは、これで第2回滝沢市文化財調査委員会を終了いたします。</p>

閉会時刻 10時50分